

(別紙 1)

平成 29 年度～令和 8 年度 社会福祉法人桃郷社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	社会福祉法人 桃郷		法人番号	1700-05-003104			
法人代表者氏名	理事長 船木 孝明						
法人の主たる所在地	和歌山県紀の川市桃山町調月 58 番地の 3						
連絡先	0736-66-0995						
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日							
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	平成 29 年 6 月 16 日 (当初) 令和 4 年 8 月 31 日 (第 1 回変更時)						
評議員会の承認年月日	平成 29 年 6 月 23 日 (当初) 令和 4 年 9 月 17 日 (第 1 回変更時)						
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (当初) (単位：千円)	残額総額 (平成 28 年度末現在)	1 か年度目 (平成 29 年度末現在)	2 か年度目 (平成 30 年度末現在)	3 か年度目 (令和 1 年度末現在)	4 か年度目 (令和 2 年度末現在)	5 か年度目 (令和 3 年度末現在)	
	204,070	197,570	120,570	76,570	52,070	21,570	
うち社会福祉充実事業費 (単位：千円)		▲6,500	▲77,000	▲44,000	▲24,500	▲30,500	
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (第 1 回変更後) (単位：千円)	残額総額 (令和 3 年度末現在)	6 か年度目 (令和 4 年度末現在)	7 か年度目 (令和 5 年度末現在)	8 か年度目 (令和 6 年度末現在)	9 か年度目 (令和 7 年度末現在)	10 か年度目 (令和 8 年度末現在)	社会福祉充実事業未充当額
	119,640	89,140	33,640	21,140	8,640	▲3,860	
うち社会福祉充実事業費 (単位：千円)		▲30,500	▲55,500	▲12,500	▲12,500	▲12,500	
本計画の対象期間	平成 29 年 8 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日						

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有	事業費
------	-----	------	---------	------	--------	-----

					無	
1か年度目	職員育成事業	社会福祉事業	既存	当法人の職員の資質向上を図るため、全国団体が実施する研修の受講費用を補助する。	無	500千円
	事業所開設、定員拡充及びサービス向上に伴う人材確保事業	社会福祉事業	既存	平成29年度はあすなろ教室の開設(10人)、つぼみ園センター化による定員拡充(20人→30人)、青空つばさの定員拡充(10人→20人)を行い、平成32年度は木の実教室の定員拡充(10名→20名)を予定しているため、開設・拡充による保育士等の人材の確保を行うとともに、保護者や障害児の抱える課題解決のため、発達相談員・社会福祉士の人材確保を行う。	無	3,000千円
	ひまわり園定員等拡充に伴う施設整備事業	社会福祉事業	既存	児童発達支援センター「ひまわり園」は定員30名であるが、入園希望者が多く36名の児童を受け入れているため、保育室、ホール、トイレ、シャワー室等の増築を実施する。	有	3,000千円
	小計					
2か年度目	職員育成事業	社会福祉事業	既存	当法人の職員の資質向上を図るため、全国団体が実施する研修の受講費用を補助する。	無	500千円
	事業所開設、定員拡充及びサービス向上に伴う人材確保事業	社会福祉事業	既存	平成29年度はあすなろ教室の開設(10人)、つぼみ園センター化による定員拡充(20人→30人)、青空つばさの定員拡充(10人→20人)を行い、平成32年度は木の実教室の定員拡充(10名→20名)を予定しているため、開設・拡充による保育士等の人材の確保を行うとともに、保護者や障害児の抱える課題解決のため、発達相談員・社会福祉士の人材確保を行う。	無	12,000千円
	ひまわり園定員等拡充に伴う施設整備事業	社会福祉事業	既存	児童発達支援センター「ひまわり園」は定員30名であるが、入園希望者が多く36名の児童を受け入れている	有	60,000千円

	業			ため、保育室、ホール、トイレ、シャワー室等の増築を実施する。			
	木の実教室の定員拡充に伴う施設整備事業	社会福祉事業	新規	児童発達支援事業「木の実教室」の定員拡充（10人→20人）に伴い、既に購入している移転用地に施設を新設する。	有	4,500千円	
	小計						77,000千円
3か年度目	職員育成事業	社会福祉事業	既存	当法人の職員の資質向上を図るため、全国団体が実施する研修の受講費用を補助する。	無	500千円	
	事業所開設、定員拡充及びサービス向上に伴う人材確保事業	社会福祉事業	既存	平成29年度はあすなろ教室の開設（10人）、つぼみ園センター化による定員拡充（20人→30人）、青空つばさの定員拡充（10人→20人）を行い、平成32年度は木の実教室の定員拡充（10名→20名）を予定しているため、開設・拡充による保育士等の人材の確保を行うとともに、保護者や障害児の抱える課題解決のため、発達相談員・社会福祉士の人材確保を行う。	無	18,000千円	
	木の実教室の定員拡充に伴う施設整備事業	社会福祉事業	新規	児童発達支援事業「木の実教室」の定員拡充（10人→20人）に伴い、既に購入している移転用地に施設を新設する。	有	93,000千円	
	小計						111,500千円
4か年度目	職員育成事業	社会福祉事業	既存	当法人の職員の資質向上を図るため、全国団体が実施する研修の受講費用を補助する。	無	500千円	
	事業所開設、定員拡充及びサービス向上に伴う人材確保事業	社会福祉事業	既存	平成29年度はあすなろ教室の開設（10人）、つぼみ園センター化による定員拡充（20人→30人）、青空つばさの定員拡充（10人→20人）を行い、平成32年度は木の実教室の定員拡充（10名→20名）を予定しているため、開設・拡充による保育士等の人材の確保を行うとともに、保護者や障害児の抱える課題解決のため、発達	無	24,000千円	

				相談員・社会福祉士の人材確保を行う。		
	小計					24,500 千円
5か年度目	職員育成事業	社会福祉事業	既存	当法人の職員の資質向上を図るため、全国団体が実施する研修の受講費用を補助する。	無	500 千円
	事業所開設、定員拡充及びサービス向上に伴う人材確保事業	社会福祉事業	既存	平成 29 年度はあすなろ教室の開設（10 人）、つぼみ園センター化による定員拡充（20 人→30 人）、青空つばさの定員拡充（10 人→20 人）を行い、平成 32 年度は木の実教室の定員拡充（10 名→20 名）を予定しているため、開設・拡充による保育士等の人材の確保を行うとともに、保護者や障害児の抱える課題解決のため、発達相談員・社会福祉士の人材確保を行う。	無	30,000 千円
	小計					30,500 千円
6か年度目	職員育成事業	社会福祉事業	既存	当法人の職員の資質向上を図るため、全国団体が実施する研修の受講費用を補助する。	無	500 千円
	事業所開設、定員拡充及びサービス向上に伴う人材確保事業	社会福祉事業	既存	平成 29 年度はあすなろ教室の開設（10 人）、つぼみ園センター化による定員拡充（20 人→30 人）、青空つばさの定員拡充（10 人→20 人）を行い、平成 32 年度は木の実教室の定員拡充（10 名→20 名）を予定しているため、開設・拡充による保育士等の人材の確保を行うとともに、保護者や障害児の抱える課題解決のため、発達相談員・社会福祉士の人材確保を行う。	無	30,000 千円
	小計					30,500 千円
7か年度目	職員育成事業	社会福祉事業	既存	当法人の職員の資質向上を図るため、全国団体が実施する研修の受講費用を補助する。	無	500 千円
	事業所開設、定員拡充及びサ	社会福祉事業	既存	平成 29 年度はあすなろ教室の開設（10 人）、つぼみ園センター化による	無	12,000 千円

	一ビス向上に伴う人材確保事業			定員拡充（20人→30人）、青空つばさの定員拡充（10人→20人）を行い、平成32年度は木の実教室の定員拡充（10名→20名）を予定しているため、開設・拡充による保育士等の人材の確保を行うとともに、保護者や障害児の抱える課題解決のため、発達相談員・社会福祉士の人材確保を行う。			
	つくしんぼ園施設整備事業	社会福祉事業	新規	児童発達支援センター「つくしんぼ園」の交流室及び倉庫を新設する。	有	43,000千円	
	小計						55,500千円
8か年度目	職員育成事業	社会福祉事業	既存	当法人の職員の資質向上を図るため、全国団体が実施する研修の受講費用を補助する。	無	500千円	
	事業所開設、定員拡充及びサービス向上に伴う人材確保事業	社会福祉事業	既存	平成29年度はあすなろ教室の開設（10人）、つぼみ園センター化による定員拡充（20人→30人）、青空つばさの定員拡充（10人→20人）を行い、平成32年度は木の実教室の定員拡充（10名→20名）を予定しているため、開設・拡充による保育士等の人材の確保を行うとともに、保護者や障害児の抱える課題解決のため、発達相談員・社会福祉士の人材確保を行う。	無	12,000千円	
	小計						12,500千円
9か年度目	職員育成事業	社会福祉事業	既存	当法人の職員の資質向上を図るため、全国団体が実施する研修の受講費用を補助する。	無	500千円	
	事業所開設、定員拡充及びサービス向上に伴う人材確保事業	社会福祉事業	既存	平成29年度はあすなろ教室の開設（10人）、つぼみ園センター化による定員拡充（20人→30人）、青空つばさの定員拡充（10人→20人）を行い、平成32年度は木の実教室の定員拡充（10名→20名）を予定しているため、開設・拡充による保育士等の人材の確保を行うとともに、保護者や障	無	12,000千円	

				害児の抱える課題解決のため、発達相談員・社会福祉士の人材確保を行う。		
	小計					12,500 千円
10か年度目	職員育成事業	社会福祉事業	既存	当法人の職員の資質向上を図るため、全国団体が実施する研修の受講費用を補助する。	無	500 千円
	事業所開設、定員拡充及びサービス向上に伴う人材確保事業	社会福祉事業	既存	平成 29 年度はあすなろ教室の開設（10 人）、つぼみ園センター化による定員拡充（20 人→30 人）、青空つばさの定員拡充（10 人→20 人）を行い、平成 32 年度は木の実教室の定員拡充（10 名→20 名）を予定しているため、開設・拡充による保育士等の人材の確保を行うとともに、保護者や障害児の抱える課題解決のため、発達相談員・社会福祉士の人材確保を行う。	無	12,000 千円
	小計					12,500 千円
合計						306,000 千円

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること。

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業（小規模事業）	発達障害への認知が高まり、早期療育を行う児童発達支援センター、児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業に対する質の高いサービス提供のニーズが増えており、障害児とその家族のニーズに応えられるよう、今後も事業所の開設や定員の拡充が当法人の優先すべき課題であり、そのためにも、職員の資質向上や保育士・発達相談員・指導員等の人材確保が急務と考えている。
② 地域公益事業	①の理由により、社会福祉充実残額は生じても「地域公益事業」の財源は生じないため実施しない。
③ ①及び②以外の公益事業	①の理由により、社会福祉充実残額は生じても「①及び②以外の地域公益事業」の財源は生じないため実施しない。

4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1か 年度 目	2か 年度 目	3か 年度 目	4か 年度 目	5か 年度 目	6か 年度 目	7か 年度 目	8か 年度 目	9か 年度 目	10か 年度 目	
職員育成事業	計画の実施期間に おける事業費合計	500 千円	500 千円	500 千円	500 千円	500 千円	500 千円	500 千円	500 千円	500 千円	500 千円	
	財源構成	社会福祉充実 残額	500 千円	500 千円	500 千円	500 千円	500 千円	500 千円	500 千円	500 千円	500 千円	500 千円
		補助金										
		借入金										
		事業収益										
		その他										

事業名	事業費内訳	1か 年度 目	2か 年度 目	3か 年度 目	4か 年度 目	5か 年度 目	6か 年度 目	7か 年度 目	8か 年度 目	9か 年度 目	10か 年度 目	
事業所開設 及び定員拡 充に伴う人 材確保事業	計画の実施期間に おける事業費合計	3,000 千円	12,000 千円	18,000 千円	24,000 千円	30,000 千円	30,000 千円	30,000 千円	30,000 千円	30,000 千円	30,000 千円	
	財源構成	社会福祉充実 残額	3,000 千円	12,000 千円	18,000 千円	24,000 千円	30,000 千円	30,000 千円	1,200 千円	1,200 千円	1,200 千円	1,200 千円
		補助金										
		借入金										
		事業収益										
		その他										

事業名	事業費内訳	1か 年度 目	2か 年度 目	3か 年度 目	4か 年度 目	5か 年度 目	6か 年度 目	7か 年度 目	8か 年度 目	9か 年度 目	10か 年度 目	
ひまわり 園定員等 拡充に伴 う施設整 備事業	計画の実施期間に おける事業費合計	3,000 千円	60,000 千円									
	財源構成	社会福祉充実 残額	3,000 千円	60,000 千円								
		補助金										
		借入金										
		事業収益										
		その他										

事業名	事業費内訳	1か	2か	3か	4か	5か	6か	7か	8か	9か	10か
-----	-------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

		年度 目	年度 目	年度 目	年度 目	年度 目	年度 目	年度 目	年度 目	年度 目	年度 目
木の実教室 の定員拡充 に伴う施設 整備事業	計画の実施期間に おける事業費合計		4,500 千円	93,000 千円							
	財源 構成	社会福祉充実 残額		4,500 千円	25,500 千円						
		補助金			67,500 千円						
		借入金									
		事業収益									
		その他									

事業名	事業費内訳	1か 年度 目	2か 年度 目	3か 年度 目	4か 年度 目	5か 年度 目	6か 年度 目	7か 年度 目	8か 年度 目	9か 年度 目	10か 年度 目
つくしん ぼ園施設 整備事業	計画の実施期間に おける事業費合計							43,000 千円			
	財源 構成	社会福祉充実 残額							43,000 千円		
		補助金									
		借入金									
		事業収益									
		その他									

※本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

5. 事業の詳細

事業名	職員育成事業
主な対象者	当法人に在籍する嘱託職員及び正職員
想定される対象者数	100人
事業の実施地域	—
事業の実施時期	平成29年8月1日～令和9年3月31日
事業内容	当法人の職員の資質向上を図るため、全国団体が実施する研修の受講費用を補助する。

事業の実施スケジュール	1か年度目	職員 10 人を対象に費用助成を実施。
	2か年度目	職員 10 人を対象に費用助成を実施。
	3か年度目	職員 10 人を対象に費用助成を実施。
	4か年度目	職員 10 人を対象に費用助成を実施。
	5か年度目	職員 10 人を対象に費用助成を実施。
	6か年度目	職員 10 人を対象に費用助成を実施。
	7か年度目	職員 10 人を対象に費用助成を実施。
	8か年度目	職員 10 人を対象に費用助成を実施。
	9か年度目	職員 10 人を対象に費用助成を実施。
	10か年度目	職員 10 人を対象に費用助成を実施。
事業費積算 (概算)	5 万円 × 10 人 × 10 年 = 500 万円	
	合計	5,000 千円 (うち社会福祉充実残額充当額 5,000 千円)
地域協議会等の意見と その反映状況		

事業名	事業所開設、定員拡充及びサービス向上に伴う人材確保事業	
主な対象者	保育士、幼稚園教諭、指導員、発達相談員又は社会福祉士	
想定される対象者数	10 人	
事業の実施地域	岩出市、紀の川市、紀美野町、橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町	
事業の実施時期	平成 29 年 8 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日	
事業内容	平成 29 年度はあすなろ教室の開設 (10 人)、つぼみ園センター化による定員拡充 (20 人→30 人)、青空つばさの定員拡充 (10 人→20 人) を行い、平成 32 年度は木の実教室の定員拡充 (10 名→20 名) を予定しているため、開設・拡充による保育士等の人材の確保を行うとともに、保護者や障害児の抱える課題解決のため、発達相談員・社会福祉士の人材確保を行う。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	保育士等 1 名の採用を実施。(計 1 名)

	2 か年度目	保育士等 3 名の採用を実施。(計 4 名)
	3 か年度目	保育士等 2 名の採用を実施。(計 6 名)
	4 か年度目	保育士等 2 名の採用を実施。(計 8 名)
	5 か年度目	保育士等 2 名の採用を実施。(計 10 名)
	6 か年度目	(10 名)
	7 か年度目	(10 名)
	8 か年度目	(10 名)
	9 か年度目	(10 名)
	10 か年度目	(10 名)
事業費積算 (概算)	人件費 300 万円×1 人=300 万円 人件費 300 万円×4 人=1,200 万円 人件費 300 万円×6 人=1,800 万円 人件費 300 万円×8 人=2,400 万円 人件費 300 万円×10 名×6 年=18,000 万円	
	合計	237,000 千円 (うち社会福祉充実残額充当額 165,000 千円)
地域協議会等の意見と その反映状況		

事業名	ひまわり園定員拡充に伴う施設整備事業
主な対象者	就学前児童 (3 歳~5 歳児)
想定される対象者数	36 名
事業の実施地域	岩出市、紀の川市、紀美野町
事業の実施時期	平成 29 年 8 月 1 日~令和 2 年 3 月 31 日
事業内容	児童発達支援センター「ひまわり園」は定員 30 名であるが、入園希望者が多く 36 名の児童を受け入れているため、保育室、ホール、トイレ、シャワー室等の増築 を実施する。

事業の実施スケジュール	1 か年度目	実施設計を実施。
	2 か年度目	施設・設備整備を実施。
	3 か年度目	
	4 か年度目	
	5 か年度目	
	6 か年度目	
	7 か年度目	
	8 か年度目	
	9 か年度目	
	10 か年度目	
事業費積算 (概算)	実施設計費用	3,000 千円
	工事請負費	60,000 千円
	合計	63,000 千円 (うち社会福祉充実残額充当額 63,000 千円)
地域協議会等の意見と その反映状況		

事業名	木の実教室の定員拡充に伴う施設整備事業
主な対象者	就学前乳幼児 (2 歳～3 歳児)
想定される対象者数	20 名
事業の実施地域	岩出市、紀の川市、紀美野町
事業の実施時期	平成 30 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
事業内容	児童発達支援事業「木の実教室」の定員拡充 (10 人→20 人) に伴い、既に購入している移転用地に施設を新設する。

事業の実施スケジュール	1 か年度目	
	2 か年度目	実施設計を実施。
	3 か年度目	施設・設備整備を実施。
	4 か年度目	
	5 か年度目	
	6 か年度目	
	7 か年度目	
	8 か年度目	
	9 か年度目	
	10 か年度目	
事業費積算 (概算)	実施設計費用	4,500 千円
	工事請負費	90,000 千円(うち社会福祉施設整備費補助金を活用) 自己財源 22,500 千円
	備品購入費	3,000 千円
	合計	97,500 千円(うち社会福祉充実残額充当額 30,000 千円)
地域協議会等の意見と その反映状況		

事業名	つくしんぼ園定員拡充に伴う施設整備事業
主な対象者	就学前児童(3歳~5歳児)
想定される対象者数	36名
事業の実施地域	橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町
事業の実施時期	令和5年4月1日~令和6年3月31日
事業内容	児童発達支援センター「つくしんぼ園」は定員30名であるが、入園希望者が多く36名の児童を受け入れているため、交流室、倉庫等の増築を実施する。

事業の実施スケジュール	1 か年度目	
	2 か年度目	
	3 か年度目	
	4 か年度目	
	5 か年度目	
	6 か年度目	
	7 か年度目	施設整備を実施
	8 か年度目	
	9 か年度目	
	10 か年度目	
事業費積算 (概算)	実施設計費用	3,000 千円
	工事請負費	40,000 千円
	合計	43,000 千円 (うち社会福祉充実残額充当額 43,000 千円)
地域協議会等の意見と その反映状況		

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

<p>地域の福祉ニーズを踏まえた事業規模からして、5か年度の実施期間内に事業を完了することが困難なため。</p>
--